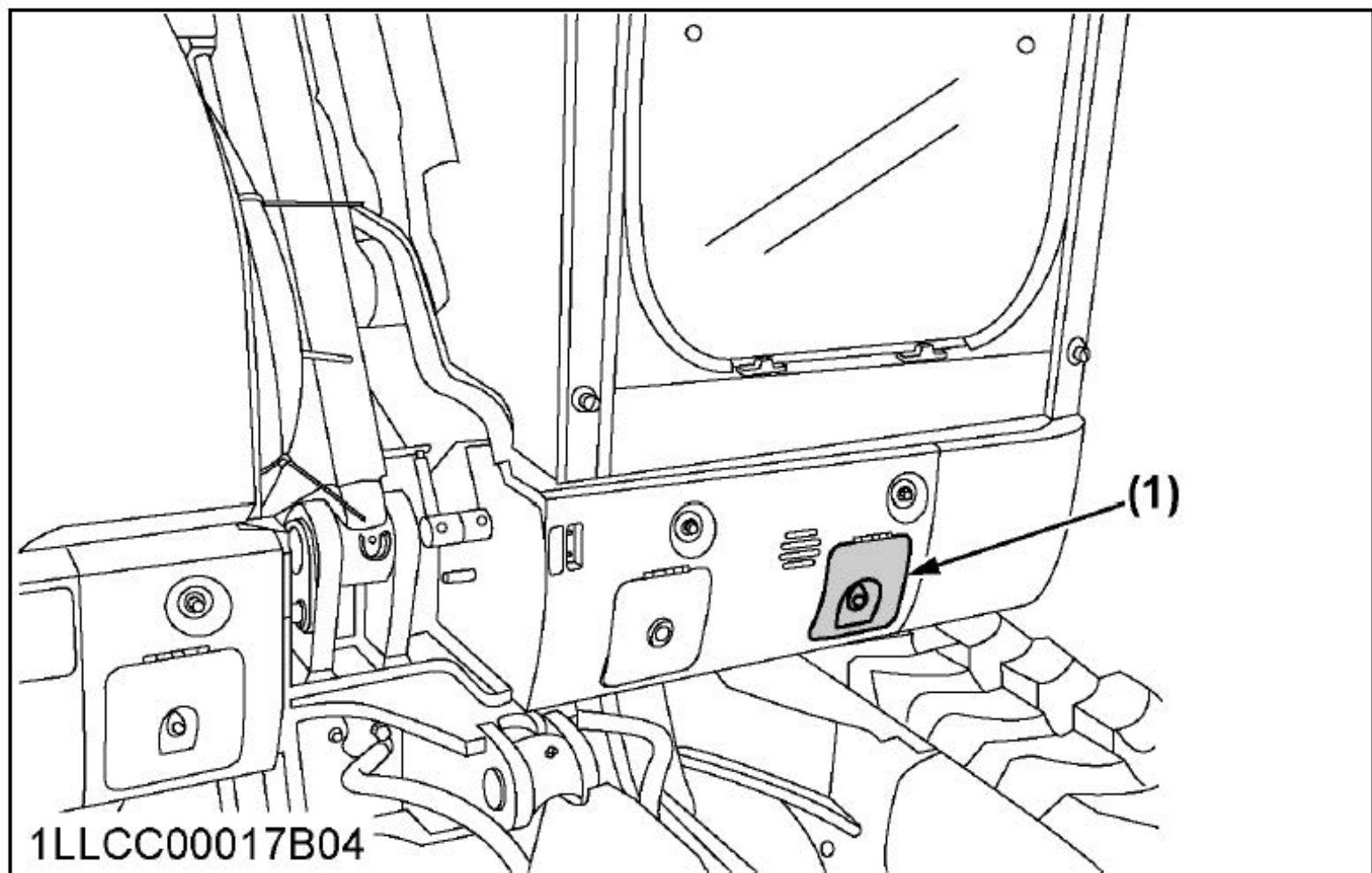
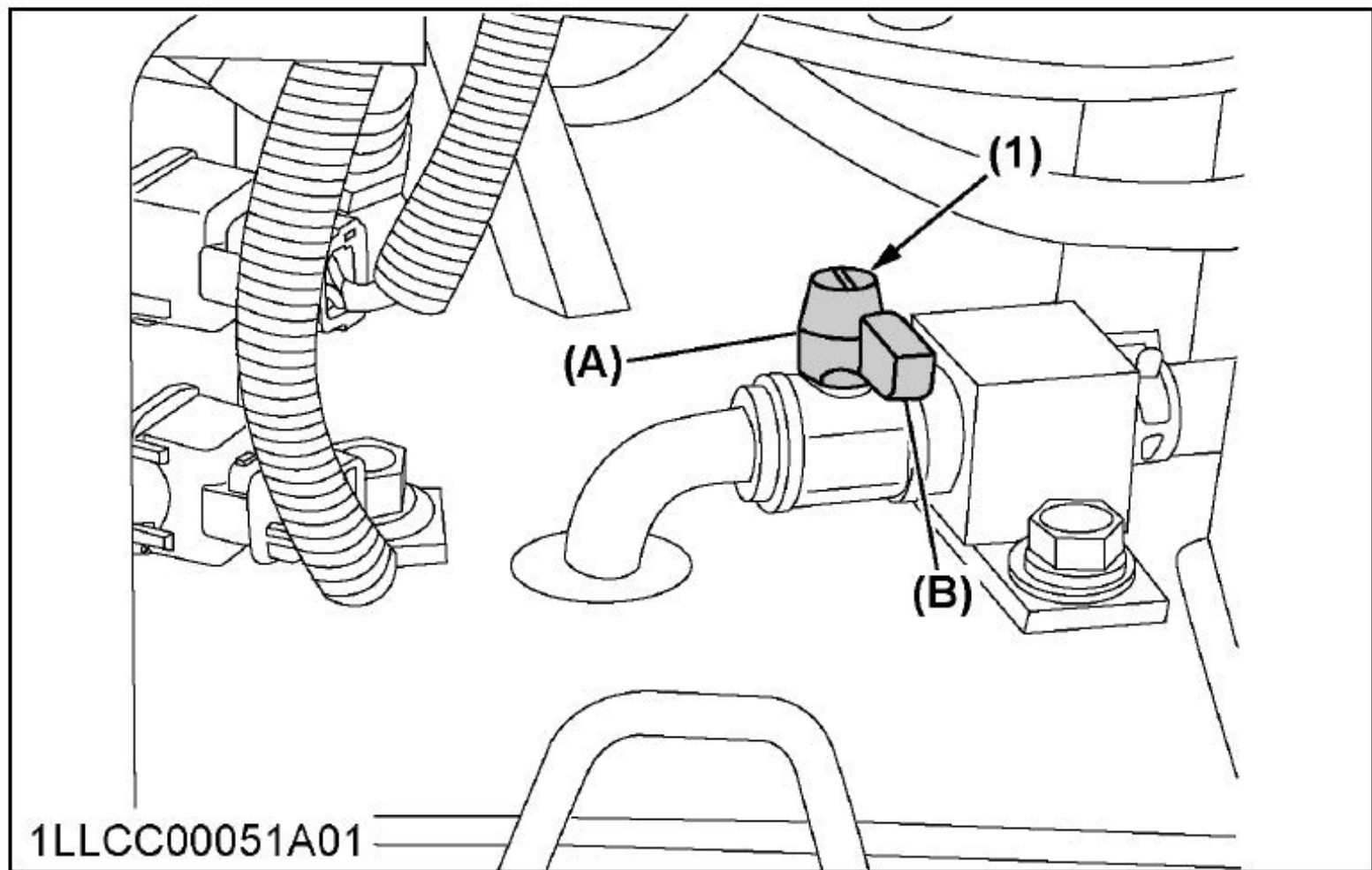


1. ボンネット前面のカバーを開け、コックを回して水を抜きます。



(1) カバー



1LLCC00051A01

(1) コック

(A) 開

(B) 閉

2. ウォータセパレータの水抜き

重要：

- 次のメッセージが表示されたら、ただちに水を排出してください。
(この表示が出ると、警告音も発せられます。)



1DGWC00294A01

- 清掃は、軽油もしくは洗淨油で行ってください。
- 組み付けるときは、チリやホコリが付着しないように注意してください。
- カップ部の水を抜いた後はエア抜きを行ってください。
(詳細は燃料系統のエア抜きのしかた (130 ページ) を参照)

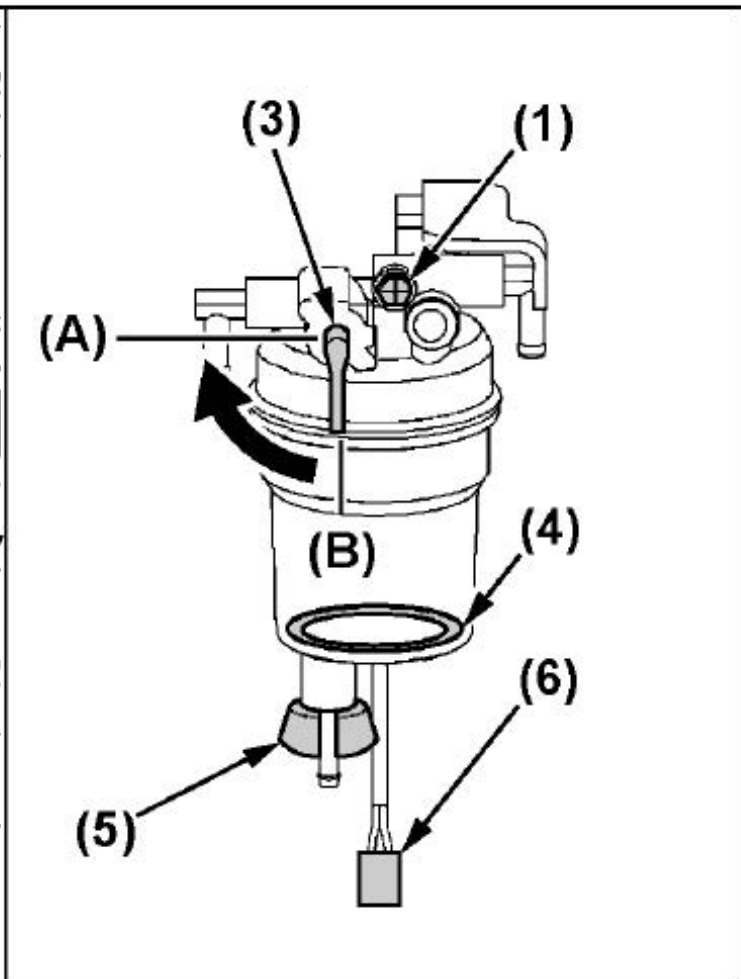
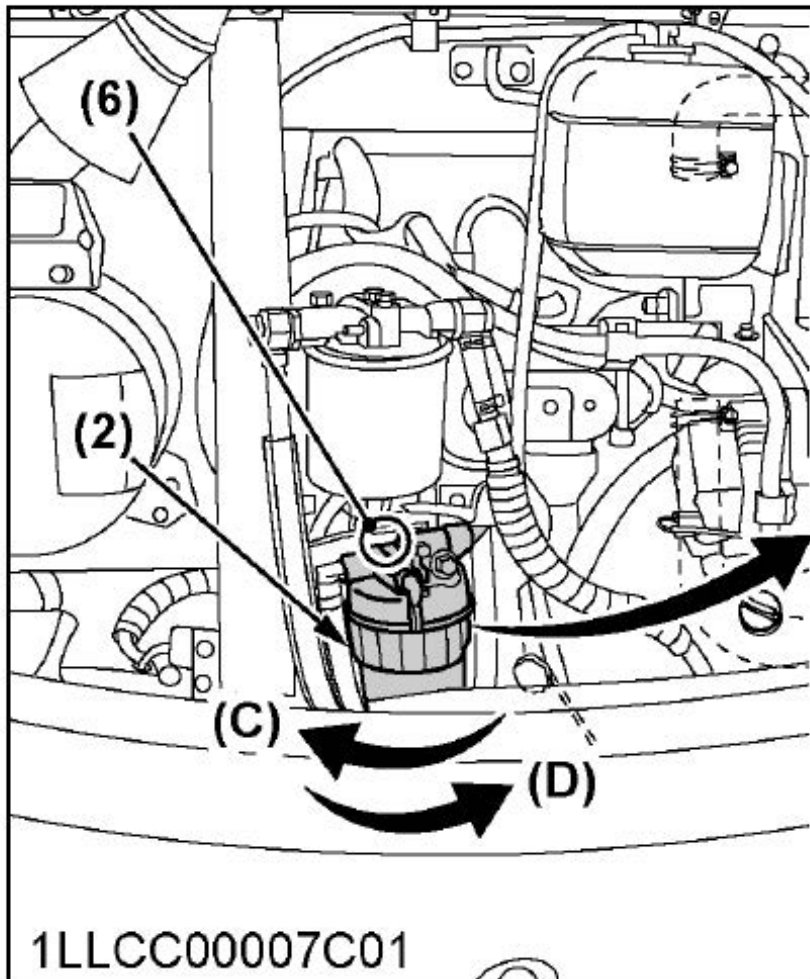
- 燃料システムの排水を行わないと、DPF の洗浄効率が落ち、DPF の寿命が予定（3000 時間）より短縮するおそれがあります。

水が溜まると赤色のフロート（浮き輪）が浮いてくるので、コックをゆるめて水を捨ててください。

1. ウォータセパレータハンドルを**[OFF]**位置にします。
2. ネジをゆるめます。
3. コックをゆるめて水を排出します。
4. カップ内にゴミなどが沈殿している場合は、カップを外して清掃します。
5. 清掃後、カップを確実に締めます。
6. ウォータセパレータハンドルを**[ON]**位置にします。

補足：

- カップを外す場合、事前に水位センサのコネクタを外してください。カップの清掃が終わったら、コネクタを取り付けてください。



1LLCC00007C01

- (1) ネジ
- (2) カップ
- (3) ウォータセパレータハンドル
- (4) フロート
- (5) コック
- (6) 水位センサのコネクタ

- (A) [OFF]
- (B) [ON]
- (C) 緩める
- (D) 締める